

XenServer 7.1 Cumulative Update 1 : リリースノート

XenServer 7.1 Cumulative Update 1 (CU1) へようこそ。このドキュメントでは、XenServer 7.1 CU1 の重要な情報について説明します。

XenServer 7.1 CU1 には、以下の 2 種類の商用エディションが用意されています。

- Standard Edition
- Enterprise Edition

XenServer 7.1 CU1 は、2017 年 2 月にリリースされた XenServer 7.1 Long Term Service Release (LTSR) の Cumulative Update です。

サポートスケジュール

XenServer 7.1 では、5 年間のメインストリームサポートが提供され、5 年間の延長サポートを追加できます。

XenServer 7.1 リリースは、XenServer 7.1 CU1 のリリース後 3 か月間サポートされます。この期間中、XenServer 7.1 および XenServer 7.1 CU1 の両方に関して重要な Hotfix が提供されます。機能に関する Hotfix は、XenServer 7.1 CU1 についてのみ提供されます。

2017 年 11 月 21 日以降、使用中の XenServer 7.1 に関してサポートや Hotfix を利用するには、この Cumulative Update をインストールする必要があります。

XenServer 7.1 CU1 の内容

XenServer 7.1 CU1 には、XenServer 7.1 でこれまでに提供されたすべての Hotfix のほかに、新しい修正プログラムも含まれています。

XenServer 7.1 CU1 には追加の機能が含まれていないため、XenServer 7.1 で確認されている安定した機能セットを利用できます。

Citrix 製品との互換性

XenServer 7.1 CU1 は、Citrix XenApp および XenDesktop 7.6 (LTSR)、7.14 (CR)、7.15 (LTSR) と相互運用可能です。この XenServer LTSR は、XenApp および XenDesktop LTSR と使用することをお勧めします。

ローカライズのサポート

このリリースでは、XenCenter の日本語および簡体字中国語バージョンも使用できます。

インストールオプション

XenServer 7.1 CU1 は [XenServer の製品ダウンロード](#) ページから次のパッケージで入手できます。

- **XenServer 7.1 Cumulative Update 1** には、修正プログラムによるアップデートが含まれています。この ISO を使用して、既存の XenServer 7.1 に累積アップデートを適用します。
- **Cumulative Update 1 を含む XenServer 7.1 の基本インストール ISO** には、XenServer 7.1 の基本インストールプログラムと修正プログラムから成る累積アップデートが含まれています。この ISO を使用して、CU1 を含む XenServer 7.1 を新しくインストールするか、XenServer 6.2、6.5 または 7.0 からアップグレードします。

次の表は、XenServer の既存のバージョンから XenServer 7.1 CU1 に移行する時に利用できるオプションです。

インストール済みバージョン	アップデート (XenServer 7.1 Cumulative Update 1 インストールを使用)	アップグレードまたは新規インストール (Cumulative Update 1 を含む XenServer 7.1 基本インストール ISO を 使用)
XenServer 6.2	×	○
XenServer 6.5	×	○
XenServer 7.0	×	○
XenServer 7.1	○	×

インストールを開始する前に、『[XenServer 7.1 CU1 インストールガイド](#)』（英語）で説明されている、インストール手順およびシステム要件を確認してください。

XenServer 7.1 CU1 のインストール後、製品バージョン番号は 7.1.1 と表示されます。

注意: XenCenter でホストをアップデートすると、利用可能なアップデートには XenServer 7.1 CU1 および XenServer 7.1 の適用されていない Hotfix の両方が表示されます。

XenServer 7.1 CU1 によって、「解決された問題」セクションに記載されたすべての Hotfix が適用されます。XenServer 7.1 CU1 のリリース後 3 か月間は、XenServer 7.1 CU1 に含まれていない重要な XenServer 7.1 の Hotfix がさらに提供されることがあります。これらの Hotfix は、XenServer 7.1 CU1 の Hotfix でもあります。XenServer 7.1 の Hotfix を適用するか、XenServer 7.1 CU1 および XenServer 7.1 CU1 の追加 Hotfix を適用するかを選択できます。

XenServer 7.1 で自動更新機能を使用してアップデートをインストールすることを選択した場合、XenServer 7.1 CU1 のアップデートが適用されます。XenServer 7.1 CU1 のインストール完了後、

利用可能なアップデート一覧には XenServer 7.1 CU1 の Hotfix が表示されます。再度自動更新を実行して、これらの Hotfix を XenServer 7.1 CU1 ホストに適用します。

自動更新機能について詳しくは、『[XenServer 7.1 CU1 インストールガイド](#)』（英語）のセクション 8.4 を参照してください。

XenServer 7.1 LTSR から Current Release (CR) への変更

XenServer 7.1 LTSR を実行していて、新機能を利用したい場合、XenServer CR (Current Release) ストリームに変更することもできます。CR ストリームから XenServer バージョンを使用する場合、継続してサポートを利用するためには、定期的に新しい CR を選択する必要があります。

最新の XenServer CR は [XenServer の製品ダウンロードページ](#) から入手できます。

現在のリリースから XenServer 7.1 LTSR への変更

XenServer CR を実行しているユーザーが、保証済みの安定した機能セットが搭載された XenServer のバージョンに移行したい場合、XenServer 7.1 LTSR に変更できます。Cumulative Update 1 の XenServer 7.1.1 基本インストール ISO を使用して、XenServer を新しくインストールします。XenServer CR ストリームから直接 XenServer 7.1 LTSR にアップグレードすることはできません。

ライセンス管理

XenServer 7.1 のライセンスが必要なすべての機能を使用するには、Citrix ライセンスサーバーをバージョン 11.14 以降にアップグレードします。

XenServer 7.1 のライセンスについて詳しくは、『[XenServer 7.1 Licensing FAQ](#)』（英語）参照してください。

XenServer 7.1 CU1 で解決された問題

XenServer 7.1 CU1 (以下の XenServer 7.1 Hotfix を含む) :

- Hotfix XS71E014 - <https://support.citrix.com/article/CTX226299>
- Hotfix XS71E013 - <https://support.citrix.com/article/CTX226298>
- Hotfix XS71E012 - <https://support.citrix.com/article/CTX224697>
- Hotfix XS71E011 - <https://support.citrix.com/article/CTX224691>
- Hotfix XS71E010 - <https://support.citrix.com/article/CTX224899>
- Hotfix XS71E009 - <https://support.citrix.com/article/CTX225676>
- Hotfix XS71E008 - <https://support.citrix.com/article/CTX223858>
- Hotfix XS71E007 - <https://support.citrix.com/article/CTX223290>
- Hotfix XS71E006 - <https://support.citrix.com/article/CTX222424>
- Hotfix XS71E005 - <https://support.citrix.com/article/CTX221590>
- Hotfix XS71E004 - <https://support.citrix.com/article/CTX222843>
- Hotfix XS71E003 - <https://support.citrix.com/article/CTX223285>
- Hotfix XS71E002 - <https://support.citrix.com/article/CTX224279>
- Hotfix XS71E001 - <https://support.citrix.com/article/CTX222368>

また、次の問題は XenServer 7.1 CU1 で解決されています。

全般

- プールにデフォルトのストレージリポジトリがないか、デフォルトのストレージリポジトリが有効ではなく、xe update-upload コマンドの sr-uuid パラメーター、または xe-install-supplemental-pack コマンドの --sr パラメーターが指定されていない場合、これらのコマンドは結果を返しません。この修正では、こうした場合にコマンドがエラーメッセージを返すようにします。
- 特に XenServer が静的 IP アドレス 割り当てを使用するよう構成されている場合、ローカルとリモート(XenCenter)のコンソールの両方でログオンメッセージにマシンの実際の IP アドレスではなく、「IP address not configured (IP アドレスが構成されていません)」と表示されることがあります。この修正では、ログオンメッセージに常に XenServer ホストの IP アドレス(存在する場合)が表示されるようにします。

ゲスト

- 最新のドライバーがインストールされた仮想マシンで最新のドライバーを含むインストーラーを実行すると、ドライバーを再インストールしようとするため、必要のない再起動をすることになります。
- ダイアログボックスの[はい]または[いいえ]を選択することなく再起動が実行されると、仮想マシンを起動した後でも、インストールの完了には再起動が必要であるというメッセージが表示され続けます。

ホストのランタイム

- Haswell および Broadwell ハードウェアのハードウェアエラーによって、特定の操作をすると仮想マシンが再起動されることがあります。この修正には、こうした場合の再起動を回避する対策が含まれています。
- SSH を使用して XenServer に接続すると、XenServer の systemd でメモリリークが発生することがあります。詳しくは、<https://rhn.redhat.com/errata/RHBA-2016-2216.html> を参照してください。
- 多数の仮想マシンを同時に起動すると、カーネルのソフトロックアップが発生してカーネルがクラッシュすることがあります。
- UEFI モードで起動すると、特定のハードウェアで XenServer の起動に失敗します。
- ハイパースレッディングを有効にした Skylake および Kaby Lake プロセッサの特定のワークロードで、アプリケーションがクラッシュしたり、正しく動作しないことがあります。マイクロコードアップデートがこの問題を解決します。詳しくは、<https://lists.debian.org/debian-devel/2017/06/msg00308.html> を参照してください。

インストール

- マルチパスを有効にしたシステムに XenServer をインストールすると、インストーラーは状態レポートをデバイスに保存できません。
- 特定の状況で、XenServer ホストのアップグレードに長時間要することがあります。この修正は、ホストのアップグレードに必要な時間を短縮します。

Enterprise 機能は、XenServer Enterprise Edition ユーザー、または XenApp/XenDesktop 権限により XenServer にアクセスするユーザーが使用できます。XenServer の各エディションおよびエディション間のアップグレードについては、[Citrix Web サイト](#)を参照してください。

XenCenter

- XenCenter 7.1.1 は、マップ変数(仮想マシンオブジェクトの **other-config** フィールドなど)に「空」のキーがある XenServer に接続できません。
- アップデートの確認で、XenCenter が利用可能な XenServer アップデートを検出できないことがあります。この問題は、XenCenter の接続設定におけるプロキシサーバー構成が原因です。
- XenCenter を使用して PVS アクセラレータ対応仮想マシンを OVF または XVA にエクスポートし、続いて同じプールにインポートしようとする、PVS アクセラレータ設定が失われることがあります。
- XenCenter で仮想マシンパワー管理者の役割があるユーザーは、HA が有効なプールでホストされている仮想マシンをシャットダウンする権限がありません。
- XenCenter でホストのツールスタックを再起動する権限のないユーザー(仮想マシン管理者の役割のユーザーなど)が昇格された資格情報(ホストのローカルルートアカウントなど)でツールスタックを再起動しようすると、ユーザーは誤って権限を拒否されます。
- ドメインがオフラインの場合、XenCenter が Active Directory (AD) グループのメンバーにログインできないことがあります。
- XenCenter で仮想マシンの移行操作が開始されると、同じプールに接続された別の XenCenter インスタンスの**通知/イベント**ビューに移行イベントが表示されないことがあります。
- XenCenter で、Active Directory (AD) にログインしたユーザーが仮想マシンで複数の操作を同時に実行できず、仮想マシンをテンプレートに変換できません。
- xe.exe を使用すると、ユーザーは XenServer にアップデートをアップロードできません。
- アップデートのインストール後同一プールの複数のホストの再起動が必要な場合、XenCenter が正しい順番(最初にマスター)でホストを再起動しないことがあります。
- 一部のホストのみに再起動が必要な Hotfix が適用され、その後 XenCenter のプール全体に適用された場合、プールのローリングアップグレード(RPU)ウィザードの事前チェックページが、既に Hotfix が適用されているホストに対しても再起動するよう誤った指示を表示します(実際に再起動はしない)。また、これらのホストに非アジャイル仮想マシンが含まれている場合、ウィザードを続行するために仮想マシンを中断する必要があると表示します。

既知の問題と考慮事項

次のセクションでは、このリリースの既知の問題とその対応策、およびそのほかの考慮事項について説明します。

グラフィックサポート

- Intel Skylake プロセッサを使用した Windows 10 上で Intel GVT-g がサポートされるようになりました。

全般

- XenServer ホストを以前のバージョンから XenServer 7.1 にアップグレードした後で、XenServer Tools がインストールされた Windows 仮想マシンで、XenServer Tools がインストールされていないと間違えてレポートされたり、一部の機能が利用できないと表示されたりする場合があります。この問題を解決するには、XenServer 7.1 と動作する XenServer Tools をインストールしてください。
- ESXi サーバーから XenServer に Windows 仮想マシンをインポートすると、IPv4/IPv6 ネットワークの設定が失われることがあります。ネットワーク設定を保持するには、転換を完了した後で IPv4/IPv6 設定を再構成します。
- Citrix サポート Web サイトから更新をダウンロードして、ISO を解凍せずに zip ファイルをアップロードすると、または不完全な ISO ファイルを XenServer ホストのプールにアップロードしようとする、VDI_IO_ERROR - デバイスの I/O エラーで失敗することがあります。この問題を解決するには、完全に zip ファイルをダウンロードして ISO を解凍してから XenServer プールに更新をアップロードするようにしてください。
- 仮想マシンの実行中にプールの CPU 機能セットが変更された場合（たとえば、新しいホストが既存のプールに追加された場合や、仮想マシンが別のプールのホストに移行された場合）、仮想マシンは起動時に適用された機能セットを使用し続けます。プールの新しい機能セットを使用するように仮想マシンを更新するには、仮想マシンの電源をオフにしてから起動する必要があります。XenCenter で[再起動]をクリックするなどして仮想マシンを再起動しても、仮想マシンの機能セットは更新されません。
- プール間でコンテナ管理仮想マシンを移行すると、コンテナ管理機能は仮想マシンに対する動作を停止します。これは、コンテナ管理がプール固有のキーを使用して実装されているため起こります。この問題を解決するには、新しいプールで、「コンテナ管理」の仮想マシンごとの準備手順を繰り返す必要があります。以下の点に注意してください。
 - CoreOS では、仮想マシンの基本設定で構成ドライブの構成を変更して、クラウド構成ドライブを更新する必要があります。
 - RHEL/CentOS/OL 7 および Ubuntu では、xscontainer-prepare-vm を再実行する必要があります。準備手順を繰り返した場合でも、古い XenServer プールが引き続き仮想マシンにアクセスできる場合があることに注意してください。
- コンテナの名前を変更しても、コンテナ管理ビューの更新はトリガーされません。また、Ubuntu 14.04 では、XenCenter 外部からコンテナを一時停止または一時停止解除しても、ビューの更新がトリガーされることはありません。つまり、XenServer では、現在の（名前変更/一時停止/一時停止解除された）コンテナの状態が表示されない場合があります。この根本原因は、ビューが Docker イベント通知によってのみ更新されることです。回避策として、同じ仮想マシンで実行されている無関係なコンテナでアクション（開始や停止など）を実行することで、手動で更新をトリガーできます。

国際化

- ホストコンソールでは、日本語などの非 ASCII 文字を使用することはできません。
- XenServer のルートパスワードには非 ASCII 文字を使用することはできません。

ハードウェアの互換性

- XenServer [ハードウェア互換性一覧\(HCL\)](#)で、ハードウェアの互換性についての最新情報を確認してください。

ドライバーディスク

- メイクファイルで BASE_REQUIRES 値がデフォルトの product-version=7.1.0 に設定された XenServer 7.1 用のドライバーディスクは、XenServer 7.1 CU1 にインストールされません。以下の設定で、ドライバーディスクが XenServer 7.1 CU1 にインストールできるようにします。
 - アップデートにカーネルデバイスドライバーを含むには、BASE_REQUIRES := kernel-uname-r=4.4.0+10 を設定
 - その他のアップデートの場合は、BASE_REQUIRES := platform-version=2.2.0 を設定

ストレージ

- Nutanix ストレージリポジトリを使用すると、その後 HA を再有効化しても、HA を無効化した後に残る 2 つの VDI (以前に HA ステートファイルおよびプールメタデータに対して使用) は再利用されません。顧客がこれらの VDI を削除しても安全です。
- Microsoft iSCSI Software Target Version 3.2 または 3.3 で提供されているストレージには接続できません。ただし、Windows Server 2012 以降に付属の iSCSI Target Server で提供されているストレージには接続できます。

ネットワーク

- 場合によっては、ソフトウェア FCoE スタックを使用して FCoE SAN から XenServer ホストをブートすると、ホストの初期化フェーズで一時的にリンクが切断されるためにホストが無応答になることがあります。ホストが長い間無応答に見える場合、ホストを再起動してこの問題を解消してください。
- XenServer では、FCoE ストレージリポジトリで使用される NIC を取り外すことはできません。
- NIC ボンディングは、FCoE トラフィックを処理する NIC でサポートされません。

XenCenter

- XenCenter を実行するコンピューター上でフォントサイズや画面解像度を変更すると、ユーザーインターフェイスの表示が乱れる場合があります。デフォルトのフォントサイズは 96 DPI です (Windows 8 と Windows 10 では [100%] に相当します)。

ゲスト

- XenServer で新しいハードウェアセキュリティ機能を使用すると、32 ビット PV 仮想マシンの全体的なパフォーマンスが低下することがあります。この問題の影響を受ける顧客は、次のいずれかを実行できます。
 - PV Linux 仮想マシンの 64 ビットバージョンを実行する。または、
 - no-smep no-smap オプションを付加して Xen をブートする。ホストのセキュリティ深度が浅くなる可能性があるため、このオプションはお勧めしません。

- 一定期間(通常は 10 分)非アクティブ状態が続くと、HVM Linux ゲストのコンソール画面に何も表示されなくなることがあります。この問題を回避するには、ゲストのカーネル起動パラメーターに `consoleblank=0` を追加します。カーネル起動パラメーターのアップデートについて詳しくは、ゲスト OS のドキュメントを参照してください。

Citrix について

Citrix (NASDAQ: CTXS) は、ソフトウェア定義ワークスペースへの移行を先導し、仮想化、モビリティ管理、ネットワーキング、および SaaS ソリューションを統合して、ビジネスの新たな方向性やユーザーがより働きやすい環境を実現します。Citrix のソリューションは、デバイス、ネットワークやクラウドに関係なく、アプリケーション、デスクトップ、データ、コミュニケーションをユーザーが即座に利用できるセキュアなモバイルワークスペースの提供を通して、ビジネスモビリティを推進します。Citrix の 2015 年度の年間売上高は 32.8 億ドルで、そのソリューションは世界中の 40 万以上の組織において 1 億人以上の人々に利用されています。詳しくは、www.citrix.co.jp を参照してください。

このレポートおよびそのほかの著作物、ならびに本契約の下での作業の実施にあたり作成、着想、創作、発見、発明または実用化される成果物の著作権は、Citrix が単独かつ完全に有し続けるものとします。なお、お客様には、本契約に基づく内部配布および使用を目的に、この著作権に対する全世界での、非独占的な権利が許諾されます。本契約は、Citrix 製品のライセンスを付与するものではありません。Citrix 製品には個別のライセンスが必要です。Citrix は、一般に認められた業界標準および手続きにより専門的かつ合理的な方法でサービスが履行されることを保証します。本保証の違反に対するお客様の唯一の救済方法は、Citrix による当該サービスの適時再履行に限られます。上記の保証は唯一かつ排他的なものであり、明示的、黙示的、法定を問わず、本契約の下で提供されるサービスまたは製品や、本契約の下で開発または提供されるプロセスまたは素材の性能やそれらから得られる結果に関する、商品性、特定目的への適合性、または権利侵害に対するすべての黙示の保証に代わるものとなります。Citrix がお客様に提供したすべてのサービスに対する責任は、お客様が実際に支払った金額を上限とします。いかなる場合においても、付随的、二次的、間接的、または懲罰的な損害（収益の減損を含むがこれに限らない）に対して、契約違反、不法行為、または厳格責任によるかどうかにかかわらず、本契約の一方の当事者は相手方当事者に対し責任を負わないものとします。本契約に関する紛争は、アメリカ合衆国フロリダ州法に準拠するものとします。

サードパーティサイトへのリンク。これらのリリースノートには、Citrix 以外の組織により管理される Web サイトのリンクが含まれている場合があります。Citrix は、これらのサードパーティの Web サイトの内容や使用方法について、いかなる責任も保証または受諾しないものとします。これらのリンクはお客様の利便性のために提供されており、これらの Web サイトへの Citrix の保証を示すものではありません。お客様の責任の下で、お客様が使用する Web サイトにコンピューターウイルスやその他の破壊的な問題がないことを確認してください。

© 1999-2017 Citrix Systems, Inc. All rights reserved.

Citrix、および Xen は、Citrix Systems, Inc. の登録商標です。XenServer、および XenCenter は、Citrix Systems, Inc. の米国およびその他の国における商標です。

そのほかのすべての製品名、社名、マーク、ロゴ、およびシンボルは、該当する各社の財産です。

851 West Cypress Creek Road
Fort Lauderdale, FL 33099
954-267-3000
www.citrix.com

Enterprise 機能は、XenServer Enterprise Edition ユーザー、または XenApp/XenDesktop 権限により XenServer にアクセスするユーザーが使用できます。XenServer の各エディションおよびエディション間のアップグレードについては、[Citrix Web サイト](#) を参照してください。